

三俣振興対策

進捗状況について

質問

「ダム中止により大変なご迷惑をかけたのですが、今後は三俣地域振興対策を真摯に行います」と国、県から平成14年8月8日に地元で発表されて以来丸3年が過ぎようとしています。この間、国、県、町で設置した三者振興対策検討会が行われ、昨年より地元協議会を入れた四者振興対策検討会が開催されていますが、25項目48要望を先ずどのようなに絞込み、早急に着手をしていくかが最大の急務であります。各種事業の中で何を優先項目として捉えてい



池田 宏

るのか着工の
目途を何時こ
ろに考えてい
るのか、又3
月の議会で質
問をした三俣
全戸温泉配湯
対策、下水道
対策、道の駅
対策、長大新
芝原トンネル
対策、17号法線改良対策は
どのように検討されて進捗
しているのか伺います。

町長答弁

新芝原トンネルの開削及び国道17号線法線改良について、国では一連区間の対応として17年度も継続して調査を実施しており、過年度の調査内容と本年度調査計画等について説明が出来るように関係部局と只今調整中との事であり、その説明が早期に行われるよう対応しています。下水道につ



三俣地域振興対策の中で新たなトンネル建設が要望されている芝原トンネル

いては特定環境保全公共下水道及び合併浄化槽方式の何れかで説明をしており、地元の見解が決まり次第各区に説明に入り、17年度は全体計画の策定をし18年度以降着手したい。道の駅は地元では中央付近に設置の意見であるが、町としては県が行う足湯の設置など相乗効果などを含めて街道の湯付近としています。地元から数点の指摘事項が出されたので、再検討をして、最終的に候補地の決定をして事業着手に向かいます。全

一

般

質

問

行財政改革について

質問

合併をしないで独立独歩の宣言をした我が町は行財政改革は避けて通れません。平成13年に第三次行政改革大綱が14年から16年度として実施を策定され、16年11月には事務事業見直しを17年より19年度までの年次計画として策定されました。しかし数次に渉る行政改革大綱がありますが、常に言うは安く行い難し、に感わされてきたことは誠に残念であります。しかし、今だかつてない財政窮迫の中では従来の踏襲では乗り切れません。第三次行政改革大綱で出来なかつた課題をどのように対応するのか、又事務事業見直しはどのような進捗しているのか伺います。

町長答弁

言われるように当町は行財政改革は避けて通れません。第三次行政改革大綱として23課題を設定し対応してきましたが、未実施として行政評価制度の検討、規制緩和の推進、国保介護保険の税と給付の一元化、人材育成に関する基本方針の策定、等であり、温泉管理事業の民営化については17年度末までに実施します。事務事業見直しの進捗率は17年度歳出削減計画が2億2千万円規模を設定していたが予算の設定手法に枠配分方式を導入して縮減を計り、当初予定額を24%上回る額となった。19年度までに5億円規模の経費削減がスタートした年であり、引き続き経費削減計画によって対応して行きます。

戸温泉配湯については、国、県、町で実施方法や事業主体等を再三検討してきています。その中で国、県に、三俣振興対策は現行法を超越した対応でと強く要望をしているが、国県では現時点

では長期課題となっているが諦めてはけません。又、質問の水問題で関わりのある東電さんには水利権更新期でもありますので地元と共に折衝をして行きます。